

2004年の設立以来、気象・防災に関する観測、予測、情報提供を展開。気象・防災分野の知見とデジタル技術を融合し、建設現場やインフラ管理の効率化・省人化を支援します。

道路気象監視システム



スマホで見られる気象実況

建設現場では迅速な判断のため、誰でも使いやすい気象情報が求められます。当社は、国交省テレメーターやアメダス、自社観測機器の観測データを集約表示したWebサイトを提供いたします。効率的な気象把握は、現場で有用な情報として高く評価されています。

01 観測データ

気象庁・国交省・自社観測機器

02 気象情報

レーダー・アメダス・テレメータ

03 現地実況

国交省CCTV画像を表示

04 確認方法

地図上の地点をクリック

05 表示端末

PC・スマホ対応



異常検知



異常を自動検知し、災害対応の迅速化を支援

10:24
沿岸・道路監視カメラや雨雲レーダーなどをAIが常時解析し、越波、積雪、積乱雲の接近を自動検知します。異常発生時には即座にアラートを発信し、道路管理、河川管理、現場作業における迅速な状況把握と初動対応を支援します。従来は人が遠隔モニタリングしていましたが、AIによる常時監視により、見逃しを抑えながら監視業務を省力化します。今後は、インフラメンテナンスをはじめとする幅広い分野への応用を進めてまいります。さらなる技術展開にご期待ください。

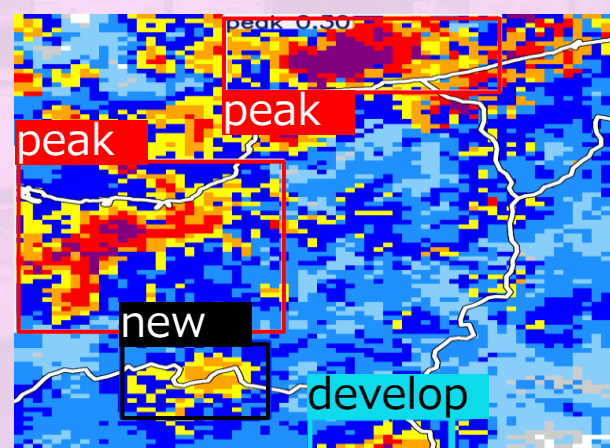
CCTVから越波検知



CCTVからスタック検知



レーダーから積乱雲検知



AIが常時監視し、異常発生時にアラート

AIスタック予想



AIが積雪リスクを予測し、先手の道路管理を支援

気象予測データと過去の降雪実績をAIが解析し、6時間ごとの更新で24時間先までのスタック発生リスクを可視化します。除雪体制の判断支援や道路利用者の安全確保に加え、運輸・物流事業者の運行計画や迂回判断にも活用できます。今後は、独自にスタック発生情報を収集・蓄積し、実績データをAI学習に反映することで、より高精度なスタック判定を目指します。気象現象の予測にとどまらず、具体的な道路影響までを一体的に予測します。道路管理分野から運輸・物流分野へ活用範囲を広げ、安全で安定した冬期交通を支援します。

01 予測対象

全国の国道・高速道路

02 予測時間

24時間先まで

03 更新時間

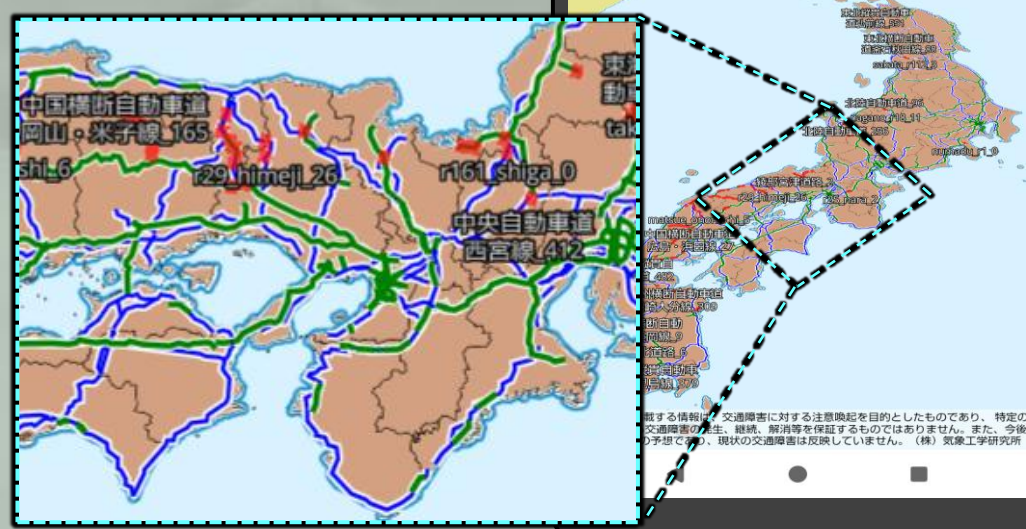
6時間毎

04 予測精度

80%以上

05 表示端末

PC・スマホ対応



AI河川水位予測



AIが増水を予測し、防災対応の迅速化を支援

激甚化する豪雨災害により、河川が増水リスクが増加しています。AIを用いた事前の増水予測で、道路、住民、鉄道などに影響する河川氾濫への対応とインフラ管理の高度化を支援します。ニーズに応じて2パターンの予測手法をご用意しています。

予測期間を重視した予測手法



01

予測データ活用

気象庁モデルの予測値で水位を予測

02

予測時間重視

予測精度より長い予測期間を重視

予測精度を重視した予測手法



01

観測データ活用

上流の水位観測データで水位を予測

02

予測精度重視

予測時間よりも高い予測精度を重視

予測期間を重視した予測手法による予測例

